

# 維新京都 医学の開花

2/15 発売

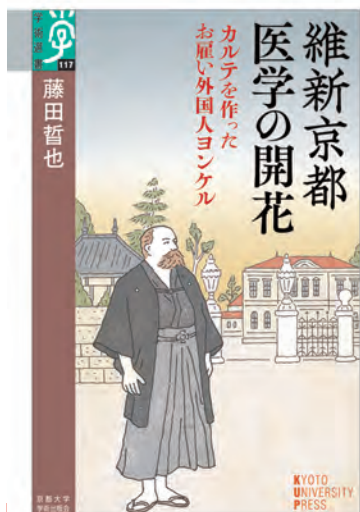
カルテを作ったお雇い外国人ヨンケル

藤田哲也 著 定価：本体 2,200 円 + 税 (10% 税込 2420 円) 四六判並製 208 頁 SBN978-4-8140-0577-2

麻酔法や消毒法、カルテシステムの導入 ...

## 歴史に埋もれたお雇い外国人医師と日本の西洋医学の黎明期を描く

明治時代にドイツから来日したお雇い外国人医師、ヨンケル・フォン・ランゲック。京都府立医科大学の前身である京都府療病院の初代教師となった彼は、麻酔法や消毒法、カルテを使った医療情報システムを日本に導入し、精神病治療にも革新をもたらした一方で、その資料がほとんど残されておらず、謎の多い人物でもある。本書は、1970 年代に京都府立医科大学で発見された赤十字マーク付きのランタンがきっかけとなり掘り起こされたヨンケルの軌跡であり、日本における西洋医学の黎明期を描く貴重な医学史である。



著者プロフィール

藤田哲也 (ふじた せつや)

公益財団法人ルイ・パストゥール医学研究センター研究員、京都府立医科大学元学長

昭和 30 年 京都府立医科大学卒業、昭和 38 年～ 41 年 米国パーデュ大学助教授、昭和 42 年 京都府立医科大学 (病理学教室) 教授、昭和 43 年～ 44 年 米国カリフォルニア大学 San Diego 医学部 (UCSD) Professor of Neurosciences、昭和 63 年～平成 6 年 京都府立医科大学学長、平成 6 年 WHO 総長付コンサルタントとしてジュネーブに滞在、平成 7 年 京都府立医科大学定年退職のち、公益財団法人ルイ・パストゥール医学研究センター 研究所長を経て、同シニアフェロー。

お問い合わせ先



一般社団法人

京都大学学術出版会

606-8315 京都市左京区吉田近衛町 69 京都大学吉田南構内

TEL 075-761-6182 FAX 075-761-6190

URL <http://www.kyoto-up.or.jp>

■ 目次より

はじめに

### 第 I 部 西洋医学への胎動

#### 第 1 章 お雇い外国人医師、京都へ

- 1 見せつけられた西洋医学の驚異
- 2 京都への西洋医学の導入
- 3 ヨンケル・フォン・ランゲックという人物
- 4 ヨンケル、日本政府に雇われる

#### 第 2 章 念願の西洋医学病院と医学校

- 1 療病院の開院と「京都療病院新聞」の発行
- 2 日本の赤十字ロゴマークの謎
- 3 ヨンケルが創案したカルテという情報システム
- 4 ヨンケル、教壇に立つ
- 5 假牧畜で牛痘ワクチン作り

### 第 II 部 京都から発した日本近代医学のビッグバン

#### 第 3 章 麻酔によって目覚めた日本の近代医療

ヨンケルの吸入麻酔器とウィリアム・ワイリスの活躍

- 1 華岡青洲による世界最初の無痛乳癌切除
- 2 エーテル麻酔法とクロロフォルム麻酔法の発明
- 3 ヨンケルの発明した吸入麻酔器
- 4 名外科医スペンサー・ウェルズとヨンケルの麻酔器
- 5 ヨンケルの麻酔器と明治維新とワイリス

#### 第 4 章 日本の近代精神病学のあけぼの

ヨンケルが持ってきたヨーロッパの近代精神病学

- 1 ヨーロッパにおける精神病学の事情
- 2 ヨンケルによって一変した京都の精神病治療
- 3 幕末における南禅寺の窮状と東山天華

#### 第 5 章 石炭酸消毒法の導入

日本近代外科学と衛生学の夜明け

- 1 日本へ石炭酸消毒法を初めて導入したヨンケル
- 2 公衆衛生と石炭酸消毒
- 3 ヨンケルをめぐる記録欠落の謎
- 4 外科手術への石炭酸消毒法の応用
- 5 生死を分けた石炭酸消毒法の威力

### 第 III 部 ヨンケルからパストゥールへ

#### 第 6 章 ヨンケルが残したもの

- 1 リスターの手紙
- 2 パストゥールの恩恵
- 3 真の文化人であったヨンケル
- 4 医学教育に関するヨンケルの理念
- 5 帰国後のヨンケル

あとがき

索引

※全国の書店・大学生協でご購入いただけます。ネット書店、小会 web サイトでもご予約 (ご注文) 可能です。

番線印

※書店が使用します

ご注文

冊

## 維新京都 医学の開花

〈学術選書 117〉

カルテを作ったお雇い外国人ヨンケル

ISBN 978-4-8140-0577-2 定価：本体 2200 円 + 税 (送料別)

京都大学学術出版会

<https://www.kyoto-up.or.jp/books/9784814005772.html>



ネット書店でご注文



お名前

ご住所 〒

お電話

お支払い 私費 / 公費

Email